

## 「学び」の機会

- ・林寺小学校の活用にあたっては、教育機関など様々な学びの場となることが、特に望まれています。これまで小学校として学びの場であったことを踏まえつつ、学校跡地を核とした新しい「学び」の視点を持った活用や、地域の特徴や文化を活かした様々な「学び」の機会の提供について記載してください。
- ・周辺の小中学校との連携などによる、生野区の教育環境向上に向けた取り組みについて記載してください。
- ・周辺エリアとの繋がりによる地域活性化や周辺エリアへの波及効果について記載してください。

## 「学び」の機会

- (1) オールイングリッシュの職場・ボランティア体験の場の提供  
当校の授業はすべて英語で行われます。英語で教育活動が行われている環境は、英語で話す必要性を高めたり、コミュニケーションが取れる喜びを感じさせることにつながります。当校を中学生・高校生・大学生に、オールイングリッシュの職場体験、学校ボランティア等を体験する場として提供します。
- (2) 教師を目指す大学生の実習の場の提供  
近隣の大学で教師を目指す学生や、日本のインターナショナルスクールの教師を目指す外国人の学生に、教育実習の場を提供します。開業後、近隣の大学との業務提携など、連携方法について協議していきます。
- (3) 近隣の小中学校との連携による「学び」の機会
  - ① 算数や体育等の学習を英語で行う体験学習の場  
インターナショナルスクールの教師が、算数では英語版の教科書を用いて授業を行い、ドッチボールやミニバスケットなどの球技スポーツでは、英語だけで子ども達と一緒に遊ぶ、体験授業の場を提供します。
  - ② 新しい「学び」（表現力、判断力、思考力）とのふれあい  
多様な国籍の人々と一緒に過ごす環境においては、「自分の考えを伝える表現力」、「異文化を理解する判断力」、「論理構成を組み立てる思考力」の3つの能力が必要となります。当校では、教育プログラムを通してこれらの能力を育成、高めるよう設計されています。連携や交流を通じて、近隣の児童・生徒が新しい「学び」に触れ、気づきを感じる機会になると思われます。
- (4) 地域学童を対象とした奨学金制度の創設  
区内在住の外国人世帯の中で、経済的な理由でインターナショナルスクールへ通えない児童・生徒に対し、奨学金制度を創設します。詳細に関しては、開業後の経営状況を踏まえながら決定することといたします。  
同様に、サタデースクール、サマースクールなどでも、区内在住の児童・生徒に対する割引制度を設定いたします。
- (5) セミナー等での「学び」の機会  
子育てや教育などに関するテーマで、専門家を招いての講演会やセミナーを開催いたします。これらのイベントには、地域住民の方々も参加できるようにし、「学び」の機会を提供いたします。

